

国分寺市公開型G I S及び統合型G I S導入・運用保守業務委託事業者選定に係る審査基準

1 趣旨

この審査基準は、「国分寺市公開型G I S及び統合型G I S導入・運用保守業務委託に係る公募型プロポーザル実施要領」に基づき、優先交渉権者の選定が客観的に公平かつ厳正に行われるよう評価点の算出方法及び優先交渉権者の選定方法を定めるものである。

2 審査会

「国分寺市公開型G I S及び統合型G I S導入・運用保守業務委託事業者選定審査委員会設置要綱（令和7年要綱第9号）」にて定めた、「国分寺市公開型G I S及び統合型G I S等導入・運用保守業務委託事業者選定審査委員会（以下、「審査会」という。）」が優先交渉権者選定の審査を行う。

3 審査方法

審査は、書類審査による第一次審査とプレゼンテーション及びシステムのデモンストレーション審査による第二次審査を行う。第一次審査通過者は、第一次審査の得点の上位4者以内とする。ただし、4位の得点である事業者が2者以上となった場合は、採点用別表【第一次審査】に記載する評価項目「公開型G I S導入事例」を比較し、その得点が高い順に選定する。

なおも同点である場合は評価項目「統合型G I S導入事例」の高い事業者を選定し、なおも同点である場合は価格点の高い事業者を選定し、価格点も同点である場合は審査会の決定によるものとする。

その後、プレゼンテーション、システムのデモンストレーション及び質疑（説明30分以内、質疑応答10分以内）による第二次審査を行い、優先交渉権者及び次席者を決定する。

優先交渉権者及び次席者は、第一次審査及び第二次審査の合計得点の最も高い者を優先交渉権者として選定し、次点の判定をした者を次席者として選定する。

ただし、第一次審査100点及び第二次審査150点の合計得点が、総評価点（250点満点）の6割（150点）以上であることを条件とする。

なお、合計得点が同点である参加者が2者以上となった場合は、第二次審査の得点が高い順に選定し、第二次審査の得点も同点である場合は、審査会の決定によるものとする。

(1) 審査の進め方

書類審査及びプレゼンテーション等の審査の内容を基に採点する。なお、書類審査については、事務局が採点用別表【第一次審査】の基準に基づき点数を算出し、審査会の承認を経て得点とする。

(2) 審査基準と配点

審査ごとに採点用別表【第一次審査】、採点用別表【第二次審査】のとおりとする。

各評価項目については、下表のように6段階で評価し、各項目の重要度に応じた倍率を乗じて点数化する。

なお、最終的な各評価項目の点数は、審査会の各委員の点数を合計し、委員数で割ったものとする。算定結果をもとに、小数第一位までを有効とし、小数第二位で四捨五入する。

評価点数	評価基準	説明
5点	非常に優れている	当該要素について、評価できるもののうち、特にそれが顕著な水準である。
4点	優れている	当該要素について、評価できるもののうち、円滑に遂行できる水準である。
3点	標準的である	当該要素について、被評定者に要求したレベルをほぼ満たしており、特に支障のない水準である。
2点	やや劣っている	当該要素について、劣る部分や問題点があり、時には支障を来すおそれがある水準である。
1点	劣っている	当該要素について、劣る部分や問題点があり、頻繁に支障を来すおそれがある水準である。
0点または失格	記載なしまたは要件未充足	-

4 その他

「国分寺市公開型GIS及び統合型GIS等導入業務・運用保守業務委託仕様書」において記載する要件に対応していない事業方法を提案した者は、失格とする。

本プロポーザル終了後に上記に該当することが判明した場合には契約締結を行わないものとし、次席者と契約締結の交渉を行う。